

主要事業箇所図(美原町域及びその周辺)



まちづくり計画の美原町地域での主たる実施効果

- 最寄駅にアクセスする路線バスルートの新設・拡充により、公共交通網の利便性が向上します。また、鉄軌道整備の調査研究が実施されます。
- 都市計画道路や下水道などの住民生活に密着した都市基盤の整備が飛躍的に進みます。下水道の整備は町単独で実施する場合、整備に30年程度要するものが、本計画により、計画期間内(10年以内)での整備が可能となります。
- 複合シビック施設を中心に行政・保健福祉・文化教育等の機能が集積されるとともに、歴史ゾーン構想が推進されるなど、美原新拠点の整備が進みます。
- 総合スポーツ施設、さつき野小中一貫校化、きた保育所の建替、美原町総合福祉会館改修など、教育、福祉施設の充実が図られます。

概算事業費

まちづくり計画の「主な事業計画」の10カ年の概算事業費は右の表のとおりです。(大阪府の事業は除いています。)内訳としては、美原町域では437億円、堺市域では378億円、両地域にかかるもの56億円となっています。

施策分野		10カ年事業費
くらし・生活基盤	福祉、子育て支援、安全・安心、居住環境整備	290億円
教育・文化	学校教育環境整備・生涯学習推進など	244億円
都市・産業基盤	水・緑の空間創出、美原新拠点整備、幹線道路・生活道路、公共交通網、産業振興など	275億円
行政体制	支所を拠点とした行政の推進	63億円
合計		872億円